

4 ハコネサンショウウオ (サンショウウオ科)

兵庫県ランク:B

Onychodactylus japonicus

環境省ランク:-

種の概要

日本の固有種で、関東地方から中国地方にかけて、山地を中心にやや不連続に分布。最近まで単一の種が東北地方から中国・四国地方まで広く分布するとされていたが、近年、本種に属するとされていたいくつかの地域個体群が独立種と判明し、実際の分布がより限定的で不連続なことが示された。成体は全長100～190mm程度。県内の他の小型サンショウウオ類に比べ細長い体型で、眼が大きくより突出している。肺を持たない。



県内における生息状況及びその他特記事項

県内での分布は、分水嶺から日本海側にかけての山間部に限られている。

写真提供: 田邊 真吾

保護上の留意点

幼生は冷涼で岩の多い溪流で生育し、変態し上陸した後は、その周辺の湿潤な林床や、がれ場などに生息する。したがってその保護にあたっては、山間部のこうした環境を損壊せず保存するよう、留意してゆくことが重要と考えられる。

県内分布

宍粟市、豊岡市、朝来市、香美町、新温泉町

【執筆者】太田 英利

主要な選定理由

人為性	激減	
	環境	○
	捕獲	△
特殊性	遺伝	
	特殊	○
学術性	孤立	
	極限	
	限界	
	希少	△

